



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	アニメーションと地域振興
Author(s)	岡本, 健
Citation	まほら, 56, 60-60
Issue Date	2008-07-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/34792
Type	article
File Information	okamoto-2.pdf



アニメーションと地域振興

二〇〇八年四月、東京発の近畿日本ツーリストのツアーに参加した。二台の大型バスの車内はアニメファンでいっぱいだ。

目的地は埼玉県鷲宮町、人口三万五千人程の町である。「アニメファンが何に興味を持って、鷲宮町に行くのだろうか？」と不思議に思われる方が多いのではないだろうか。実は、鷲宮町は人気アニメ『らき☆すた』の舞台となっており、アニメファンに非常に人気のある観光スポットとなっているのだ。

鷲宮町ではこのところ『らき☆すた』をめぐる非常に面白い現象が起きている。『らき☆すた』に登場する背景が実際に存在するものと知ったアニメファンが「聖地巡礼」をおこなったのだ。「聖地巡礼」とは、アニメで扱われている背景の元になった実在の景色を見て回る行為のことを指す。私も大のアニメファンで、「聖地巡礼」をおこなってみたが、これがなかなか面白い。実際の風景とアニメの背景がいかに違うか、同じか、「それだけのことで」と思われるかもしれないがファンとしてはたまらないのだ。

そのようなファンの心理を鷲宮町の商工会は見逃さず、イベント企画やグッズ販売で集客を図った。今回参加したツアーはそのうちの一つのイベント（「らき☆すた」に登場するキャラクターへの住民票交付式）へのアクセスツアーだったのである。

ツアーに参加してみても一番心に残っているのは、アニメファンと地域の方々が協力してイベントを運営していたことだ。聞いたところによると、町外からアニメファンのボランティアが二十名ほどかけつけ、グッズの制作やイベントの運営に、その企画段階から関わって「少しでもイベントを楽しいものに」「鷲宮町をみんなが好きになってくれるように」と尽力しているというのだ。

アニメーションを媒介にした、人と人とのつながりに、地域振興の新しい形をかいま見ることができた。759文字